

東京曳舟病院看護部キャリアラダー

2022.3.14修正

レベル		I	II	III	IV	V	
対象の目安		新卒～2年目	3～4年目	5年目以上	管理者候補、高度実践者		
I 概念化能力	レベル毎の定義	医療・看護における専門職人としての資質を理解し、助言を得る基本的姿勢と態度により行動する	医療・看護における専門職人としての資質にもとづいて、目標達成へ向けて自覚と責任ある行動をとる	医療・看護における専門職人としての資質にもとづいて、チームの目標達成へ向けてリーダーシップを発揮する	医療・看護における専門職人の資質として、組織から求められる役割を認識しロールモデルとなる	医療・看護における専門職人としての資質として、組織の問題解決や目標達成に向けて役割を遂行する	
	1.適正な看護サービスの特性と仕組み	【レベル毎の目標】	1.法人および看護部の理念と基本方針を理解し、良質な医療・看護サービスの提供に向けて組織の一員としての責任ある行動を身につける 2.専門職人としての倫理的視点を理解する	1.良質な医療・看護サービスの提供に向けて、部署の一端としての役割を理解し、部署の目標達成に主体的に行動する 2.専門職人に求められる倫理的姿勢を持つ行動する	1.良質な医療・看護サービスの提供に向けて、部署の目標達成に向けて率先して参加する 2.倫理的問題に気づき、解決に向けて行動する	1.良質な医療・看護サービスの提供に向けて、部署以外での組織の目標達成に向けて主体的に実践する 2.倫理的課題の解決に向けて主体的に行動できる	1.良質な医療・看護サービスの提供に向けて、所属を超え、病院や看護部の目標達成に向けて役割を遂行する 2.倫理的課題の解決に向けてチーム医療に参加できる
		【行動目標】	1-1病院の理念に基づき地域社会への役割・機能を理解できる 1-2看護部の理念と基本方針が理解できる 1-3社会人としてのルール、組織人として接遇マナーを身につける 1-4指導を受けながら優先順位を考えた決めた時間内に業務を遂行できる 1-5マニュアルを遵守し指導を受けながら実践できる 1-6基本的看護技術は、到達目標が達成できる 1-7収益と支出の仕組みを理解しコスト削減のための行動ができる 1-8専門職人としての行動指針となる倫理的規範を理解できる 1-7実践において倫理的規範と関連づけ行動できる	1-1当院の地域社会への役割・機能を理解し、看護職に求められる役割を考へ行動につなげることができる 1-2看護部の理念と基本方針を理解し部署における自己の役割を説明できる 1-3自己の業務管理、社会人としてのルール、組織人として接遇マナーを遵守できる 1-4マニュアルを確実に実施できる 1-5コスト意識をもち、診療報酬と処置などの関係を理解して行動できる 1-6倫理的問題に気づくことができる 1-7実践において倫理的規範と関連づけ行動できる	1-1当院の地域社会への役割・機能を理解し、看護職に求められる役割に率先して参加する 1-2自己の業務管理、社会人としてのルール、組織人として接遇マナーの啓発ができる 1-3部署に関連する診療報酬の観点で考える(各種計算)ことができる 1-4倫理的課題の解決に向けて、適切な手段を用いて調整的な役割を果たすことができる	1-1当院の地域社会への役割・機能を理解し、看護職に求められる役割に率先して参加する 1-2自己の業務管理、社会人としてのルール、組織人としての接遇マナーが遵守されるよう助言・指導する 1-3実践している医療・看護サービスについて診療報酬の観点で行動できる 1-4倫理的課題の優先順位をみきわめ、具体的解決策を実践する	1-1当院の地域社会への役割・機能を理解し、看護職に求められる役割に率先して参加する 1-2自己の業務管理、社会人としてのルール、組織人としての接遇マナーが遵守されるよう指導する 1-3実践している医療・看護サービスについて診療報酬の観点から指導できる 1-4倫理的課題の解決に向けて、チームで実践できる
	2.生涯学習とキャリア開発	【レベル毎の目標】	1.指導を受けながら自己の課題を発見し、自ら教育活動を身につけることができる 2-1助言を受けて学習方法を確立し積極的に取り組める 2-2自己の知識や技術、能力を知ることができる 2-3院内研修の目的を理解し、自己課題を達成できる 2-4他者からの指導や助言を受けて、自己の行動を振り返り意味づけすることができる 2-5「私の看護観」をまとめることができる 2-6ケースレポートをまとめることができる 2-7ケースレポート発表会に参加している 2-8研究指導者から指導を受けながら、看護研究を行う	1.自己の課題を明確化し、達成に向けた教育活動を展開できる 2-1院内外の研修に積極的に参加し、部署にフィードバックできる 2-2自己の知識や技術、能力を正しく評価することができる 2-3院内研修などに積極的に参加し、自己の課題が達成できる 2-4自己の実践を振り返り、行動変容につなげる 2-5部署内で勉強会を企画、実施できる 2-6研究指導者から支援を受けながら、メンバーとともに看護研究を行い実践に活かす 2-7院内看護研究発表会に参加している	1.自己の学習活動に積極的に取り組み、キャリア開発に向けて行動できる 2-1自己の能力を鑑みてキャリアビジョンを描くことができる 2-2キャリアビジョンを描き課題を明確にできる 2-3院外研修などに積極的に参加し、自己の課題が達成できる 2-4自己の実践を振り返り、行動変容につなげる 2-5部署内で勉強会を企画、実施できる 2-6研究指導者から支援を受けながら、メンバーとともに看護研究を行い実践に活かす 2-7院内看護研究発表会に参加している	1.自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に取り組む、後輩のロールモデルとなることができる 2-1キャリアビジョンに沿って計画的に自己研鑽できる 2-2実践を多様な視点からとらえ、チームにフィードバックする 2-3研究筆頭者として院外発表できる 2-4院内看護研究発表会に参加し、講評者を行うことができる	1.単独で専門領域や高度な看護技術等について自己教育活動を展開することができる 2-1キャリアビジョンに沿って目標達成へ具体的な行動ができる 2-2実践を多様な視点からとらえ、組織改革を推進する 2-3自主的に研究活動を実践できる 2-4部署における研究指導者を超える
		【行動目標】	2-9自主的に研究活動を実践できる	2-9自主的に研究活動を実践できる	2-9自主的に研究活動を実践できる	2-9自主的に研究活動を実践できる	
	3.リーダーシップとマネジメント	【レベル毎の目標】	1.チームの一員としての自覚を持ちメンバーの役割が遂行できる 3-1チームの一員としてメンバーの役割を理解し、行動できる 3-2新人看護師の指導・支援に参加できる 3-3業務が円滑に開始できるように余裕をもたせて行動できる 3-4期限や時間が守れるように、自ら相談・連絡・調整ができる	1.部署において日常的な役割が遂行できる 3-1優先順位をつけて効率的に業務を遂行できる 3-2指導を受けながら日勤・夜勤のリーダー業務ができる 3-3支援を受けながら新人指導など後輩を教育する機会を引き受けすることができる 3-4コーチングの手法を活用して、後輩の目標達成に向けて共に成長できる 3-5フィードバックと振り返りした内容をチーム全体へフィードバックできる	1.部署において円滑なチーム運営に向けて指導的役割が遂行できる 3-1チーム全体を俯瞰し、効率性を考えた業務調整ができる 3-2アセスメントや学生の指導の機会を積極的に引き受けすることができる 3-3プリセプターの支援ができる 3-4コーチングとティーチングを意識して教育活動ができる	1.部署を超えて組織や看護部運営の一部を担い、指導的役割が遂行できる 3-1突発的事態に対してもチームの業務調整を図り、リーダーシップを発揮できる 3-2コーチングとティーチングの手法を活用して教育活動ができる	1.専門性を発揮し、看護チームの管理・教育的役割モデルとなることができる 2.組織・看護部から求められる役割を担い、創造的にチーム活動を展開できる 3-1関連部署や多職種間と統合したケアを提供できるように部署やチームの連携を図る 3-2部署やチームの共通の目標達成に向けて方向性を示し、チーム力を引き出す関わりができる 3-3労務基準・就業規則を理解し、労務管理ができる
		【行動目標】	4-1部署の年間目標を理解し、指導を受けながら自己目標を設定できる	4-1部署の年間目標達成に向けて、自己の目標を設定し行動できる	4-1部署の目標達成に向けて問題点に気づき、解決策を提案できる 4-2部署の目標達成する上での問題の解決に向けて具体的に行動できる	4-1部署における課題の明確化に向けて分析をし、上司に問題提起ができる 4-2部署やチームにおいて、目標を浸透させメンバー間で協力体制ができるよう支援する	4-1部署の課題に対して具体的解決を図れる 4-2部署やチーム活動が推進されるよう多職種間の協力体制を作ることができる
	4.問題発見と問題解決の知識・方法	【レベル毎の目標】	1.チームの一員としての自覚を持ちメンバーの役割が遂行できる	1.部署において日常的な役割が遂行できる	1.部署において円滑なチーム運営に向けて指導的役割が遂行できる	1.部署を超えて組織や看護部運営の一部を担い、指導的役割が遂行できる	1.専門性を発揮し、看護チームの管理・教育的役割モデルとなることができる 2.組織・看護部から求められる役割を担い、創造的にチーム活動を展開できる 3-1関連部署や多職種間と統合したケアを提供できるように部署やチームの連携を図る 3-2部署やチームの共通の目標達成に向けて方向性を示し、チーム力を引き出す関わりができる 3-3労務基準・就業規則を理解し、労務管理ができる
		【行動目標】	4-1部署の年間目標を理解し、指導を受けながら自己目標を設定できる	4-1部署の年間目標達成に向けて、自己の目標を設定し行動できる	4-1部署の目標達成に向けて問題点に気づき、解決策を提案できる 4-2部署の目標達成する上での問題の解決に向けて具体的に行動できる	4-1部署における課題の明確化に向けて分析をし、上司に問題提起ができる 4-2部署やチームにおいて、目標を浸透させメンバー間で協力体制ができるよう支援する	4-1部署の課題に対して具体的解決を図れる 4-2部署やチーム活動が推進されるよう多職種間の協力体制を作ることができる
	II 対人関係能力	レベル毎の定義	チームの一員としてコミュニケーションの基本を身につける	チーム内で状況に応じて適切なコミュニケーションを図る	部署内で良好な対人関係の構築に向けて行動する	医療チーム間で様々なコミュニケーションツールを用いて対人関係を構築する	関連部門と協働に向けて対人関係を構築する
		【レベル毎の目標】	1.チームワークの重要性を認識し、良好なコミュニケーションを図る 1-1相手尊重した態度で患者、家族とコミュニケーションがとれる 1-2自己の感情に気づき、不適切な行動を抑えることができる 1-35W1Hをふまえて事実を正確に伝達できる 1-4チームワークの重要性を認識し相手と良好なコミュニケーションをはかる	1.チームメンバーにアサーティブなコミュニケーションができる 1-1チームメンバーの立場や人間関係を尊重し、相手と良好な関係を気づき行動できる 1-2他者の考えや知識を尊重し、共有できる 1-3他者が理解できるように丁寧に説明できる 1-4コミュニケーションを阻害する要因を理解し、常にコントロールできる	1.リーダーとしてチームの目標達成に向けて人間調整ができる 1-1患者、家族、他職種と円滑なコミュニケーションがとれる 1-2相手の能力や行動の優れていることと課題を見出し、効果的に伝えることができる 1-3相手の理解度を確認しながら、説明をししモデルを示すことができる 1-4相手へ与える影響を考慮し、発言や行動ができる 1-5円滑に業務遂行されているかさまざまなコミュニケーション技法を用いて把握できる	1.リーダーシップを発揮し、メンバー間を調整しながらチーム活動を促進できる 1-1患者・家族の伝えようとしている考え、気持ちの背景までを含めて理解できる 1-2相手の努力を尊重し、フィードバックし合意形成できる 1-3相手の成長に向けて課題の提示と改善策を文書的に伝えることができる 1-4患者、家族、あるいはチームの問題を調整するために他部署と積極的にコミュニケーションを図れる	1.医療チームとの連携を理解し、円滑なコミュニケーションをはかる 1-3潜在的にある課題を発見し、具体的解決策を多職種間の協力体制を作ることができる 1-2医療チームの連携を理解し、円滑なコミュニケーションをはかる 1-5円滑に業務遂行されているかコミュニケーション技法を工夫して把握できる
	III 専門的能力	レベル毎の定義	基本的な看護手順に従い必要に応じて助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する
【レベル毎の目標】		1.助言を受けながら、ケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる 2.ケアの受け手の状況から緊急度をとらえることができる	1.自立して、ケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる 2.得られた情報をもとに、ケアの受け手の全体像としての課題をとらえることができる	1.ケアの受け手の個別的なニーズに対応するケアを実践できる 2.ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる 3.ケアの受け手の状況に応じた援助ができる	1.予測的な状況判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる 2.得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる 1.ケアの受け手の個別的なニーズに合わせた適切なケアを実践できる 2.ケアの受け手の潜在的、潜在的ニーズを察知しケアの方法工夫ができる 3.ケアの受け手の個別性をとらえ、看護実践に反映できる	1.予測的な状況判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる 2.得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる 1.ケアの受け手の個別的なニーズに合わせた適切なケアを実践できる 2.ケアの受け手の潜在的、潜在的ニーズを察知しケアの方法工夫ができる 3.ケアの受け手の個別性をとらえ、看護実践に反映できる	1.複雑な状況やケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる 2.ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる 1.ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見(看護および看護以外の分野)を動員し、ケアを実践し評価追進できる 2.複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる
【行動目標】	1.指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる 2.指導を受けながら、ケアの受け手に基本的援助ができる 3.看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる	1.ケアの受け手の個別性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる 2.ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる 3.ケアの受け手の状況に応じた援助ができる	1.ケアの受け手の個別的なニーズに対応するケアを実践できる 2.ケアの受け手とケアについて意見交換できる 3.積極的に他職種に働きかけ、協力を求めることができる	1.ケアの受け手の潜在的、潜在的ニーズに合わせた適切なケアを実践できる 2.幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的に看護実践ができる	1.ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見(看護および看護以外の分野)を動員し、ケアを実践し評価追進できる 2.複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる		
	【レベル毎の目標】	1.助言を受けながら看護ケアしていくために必要な情報(何か)を考え、その情報を関係者と共有することができる 2.助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる 3.助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる 4.ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる 5.連絡・報告・相談ができる	1.ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解し、それと適切な積極的な情報交換ができる 2.関係者と密にコミュニケーションをとることができる 3.看護の展開に必要な関係者を特定できる 4.看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換できる	1.ケアの受け手の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力し合いながら多職種連携ができる 2.ケアの受け手とケアについて意見交換できる 3.積極的に他職種に働きかけ、協力を求めることができる	1.ケアの受け手が置かれている状況(場)を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に協力し合うことができる 2.多職種間の連携が機能するように調整できる 3.多職種の活力を維持・向上させる関わりができる	1.複雑な状況やケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる 2.ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる 1.ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす 1.ケアの受け手の潜在的、潜在的ニーズに合わせた適切なケアを実践できる 2.幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的に看護実践ができる	
【行動目標】	1.助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる 2.助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる 3.助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる 4.ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる 5.連絡・報告・相談ができる	1.ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解し、それと適切な積極的な情報交換ができる 2.関係者と密にコミュニケーションをとることができる 3.看護の展開に必要な関係者を特定できる 4.看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換できる	1.ケアの受け手の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力し合いながら多職種連携ができる 2.ケアの受け手とケアについて意見交換できる 3.積極的に他職種に働きかけ、協力を求めることができる	1.ケアの受け手が置かれている状況(場)を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に協力し合うことができる 2.多職種間の連携が機能するように調整できる 3.多職種の活力を維持・向上させる関わりができる	1.複雑な状況やケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる 2.ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる 1.ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす 1.ケアの受け手の潜在的、潜在的ニーズに合わせた適切なケアを実践できる 2.幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的に看護実践ができる		
	【レベル毎の目標】	1.ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る 1.1助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる 2.確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる	1.ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる 1.ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる 2.確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる	1.ケアの受け手や周囲の人々の意向に必要と判断した情報を関係者から提供できる 2.ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いが理解できる 3.ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる	1.ケアの受け手や周囲の人々の意向決定に必要な情報提供や場の設定ができる 2.ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いが理解できる 3.ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる	1.ケアの受け手や周囲の人々の意向決定に必要な情報提供や場の設定ができる 2.ケアの受け手や周囲の人々の意向決定に必要な情報提供や場の設定ができる 1.適切な資源を積極的に活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意向決定プロセスを支援できる 2.法的および文化的配慮など多方向からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる	
【行動目標】	1.ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る 1.1助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる 2.確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる	1.ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる 1.ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる 2.確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる	1.ケアの受け手や周囲の人々の意向に必要と判断した情報を関係者から提供できる 2.ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いが理解できる 3.ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる	1.ケアの受け手や周囲の人々の意向決定に必要な情報提供や場の設定ができる 2.ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いが理解できる 3.ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる	1.ケアの受け手や周囲の人々の意向決定に必要な情報提供や場の設定ができる 2.ケアの受け手や周囲の人々の意向決定に必要な情報提供や場の設定ができる 1.適切な資源を積極的に活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意向決定プロセスを支援できる 2.法的および文化的配慮など多方向からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる		